

トレンドレビュー

WGSNのBUYER'S BRIEFING

サラ・マジオーニ、WGSNリテール&バイイングディレクター

2016/17年秋冬は、1970年代にインスパイアされたテーマが進化する。



WGSN (wgsn.com)は、未来のトレンドを予想し、次シーズンのヒット商品を取捨選択できるようサポートしています。その指針となるよう、2016/17年秋冬で最も注目すべき新しいトレンドの見本をセレクトしました。WGSNのBuyers' Briefing (バイヤー速報) は、シーズンの重要トレンドのチェックリストを提供するものです。新作、継続するアイテム、色、注目のディテール、ファブリック、フィニッシュ、プリント、パターンなど、そのカテゴリーは様々です。

現在、人々が夢中になっている1970年代のムーブメントは、ボヘミアンからグラムまで幅があります。私たちは2016/17年秋冬に向けて、素材とデザインの方角性という視点からこのトレンドを分析しています。エキゾチックなスネークスキン、控えめなスパンコールの装飾、鮮やかな色合いのサルトリアルな生地が、よりミニ

マルなアプローチへと向かって行きます。来年はダークなロマンティックや旧世界のテーマが登場し、とても自然な流れで次へと移行していきます。

2016/17年秋冬のワードローブには、コーデュロイと非常に似たスタイルでベルベットが登場します。柔らかなストレッチが滑らかなフィットを生み、新鮮なシルエットを表現します。モダンなひねりをファブリックに加えながら、ワイドレッグのトラウザーやソフトボレロのようなアイテムが登場するでしょう。

消費者がステートメント性のあるアウターウェアやアパレルの選択肢に手を伸ばせるよう、その下準備として、スネーク柄はここ数年、布帛のブラウスやアクセサリ、フットウェア分野で人気を集めてきました。Aラインのミニスカートやシフトドレスのように、昨シーズン非常に売れ

たレザーのアイテムを更新する素材として、スネークスキンに注目しましょう。

2015/16年秋冬に偏在した1970年代のテーマは、プリントと色の両方で弱まりをみせます。そして、現在リテールを独占しているコニャックやラスティーな色合いに代わり、グレー、ネイビー、コスメティックトーンが登場し、大胆なレッドやグリーンが刺し色に使われるでしょう。

WeAr Select LondonにおけるBuyer's Briefingの調査と平行し、WGSNは新しいトレンドと2016/17年秋冬における重要なテーマの進化を探究します。そして、2月に開催されるPURE Londonで、エクスクルーシブなフルバージョンをリリースし、2016/17年秋冬に関する入念な分析結果と、未来のバイイングにとって重要なトレンドについて皆様にお知らせする予定です。

WGSNとWeArによるトレンド情報の詳細は
WeAr Select Londonでチェック！

